

令和2年度 大山崎町商工会 経営発達支援計画 評価(期末)について

分類	項目	主な事業概要	評価	委員からのコメント
I 経営発達支援事業の内容	2 地域の経済動向調査に関する事	・小規模事業者等景況調査 ・経営状況調査 ・乙訓BSIによる調査 ・会員アンケートの実施	B	調査結果のフィードバックの方法について、より多くの事業所にフィードバックできるよう要検討
	3 経営状況の分析に関する事	・経営計画等作成セミナー ・経営状況分析	B	・新規会員増(13件)は評価できる ・各セミナーの集客方法を要検討
	4 事業計画策定支援に関する事	・事業計画作成支援 ・創業計画作成支援	A	作成した計画の実行が難しいと思えるものについては、変更を促すことも必要
	5 事業計画策定後の実施支援に関する事	・事業計画等作成後のフォローアップ支援	A	良く出来ている
	6 需要動向調査に関する事	・個社の商品・サービスに対するアンケート調査 ・個社周辺の商圈調査・分析	B	良く出来ている
	7 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	・出展情報等の提供 ・物産店、展示会等の出店支援	B	・プロモーション支援では十分な結果をだしている ・コロナ禍において良く出来ているが、さらなる出店事業所の増加について要検討
II 地域活性化	地域活性化に資する取り組み	・観光客増加に向けた取り組み ・地域イベントへの出店支援	B	コロナ禍で良く出来た
III 支援力向上	1 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	京都府商工会連合会の各委員会 ・研究会及び京都府中小企業応援隊等を通じた支援ノウハウ等の情報交換 ・金融 ・農業応援隊 ・中小企業応援隊	B	アフターコロナを見据えた連携等に期待
	2 経営指導員等の支援力の向上の仕組み	・中小企業大学校研修 ・経営指導員向け研修会 ・法定指導員研修(WEB研修)	B	支援力の向上に努めている
	3 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	事業評価委員会を開催(中間・期末)事業の実施状況について評価・検証	A	実施状況についてわかりやすく説明があり、適切な評価・検証ができた

【総合評価】

- ・コロナ禍という難しい環境ではあるが出来る限りの事を実施し、成果も相応に出ている。
- ・計画に対してしっかりとできた。成果について商工会の内外に伝えることが課題である。

判定基準 A:非常によい B:概ねよい C:やや悪い D:非常に悪い